

新宮山彦ぐるーぷ第1924回

地蔵岳(1250m)西側の鎖補強作業など

◇実施日；2017年04月16日(日)
◇参加者；梶野照雄。

1名。

晴

3月18日の春季点検巡視の際、地蔵岳西側の鎖補強を要請された。玉岡相談役は、打ち込まれているハーケンを気にされて、「万が一抜けても大丈夫なように処置してほしい」との事であった。鎖は全長が約10mで、ほぼ中間にハーケンで固定された部分がある。鎖の上部にはあまり影響はないが、下部の固定ハーケンが抜けるか外れた場合、大きく振られることが考えられた。今回は固定部の安全策であり、人が直接握る部分ではないので、鎖ではなく軽いステンレスワイヤーロープを使用した。シャックルやワイヤークリップなどのパーツも全てステンレスを用いて、今後の補強改修が簡単に行えるようにした。



R425の東屋岳登山口



木製階段もある



東屋岳の倒れた標識

午前10時前にR425の東屋岳登山口に到着。気温が高くなって

来たが、山のお天気は現場でしか判らず、長袖と半袖の両方を用意してきた。車を降りると暑いくらいだったので、半袖に着かえて登り始めた。

東屋岳までは、ほぼ尾根通し、テープも適当に在り比較的判り易い道であった。東屋岳までは、約1時間半と沖崎さんから聞いていたが、落葉を掃除したり、枝を切ったりして、1時間40分ほどかかった。



地蔵岳が見えた



ハーケんで固定された所



ワイヤーで繋ぎ補強

東屋岳に到着、山頂標識の支柱根元が腐って倒れていた。帰りに直すことにして地蔵岳西側へ向かう。お昼をちよつと過ぎて現場に到着。ハーケン部分の鎖にシャックルでワイヤーロープを繋ぎ固定して、立ったままでお握りを2つ食べた。

ザックに荷物を入れて鎖の上部に上がる。ハーケンの上は棚状になっていて作業はやり易い。ワイヤーロープを引っ張ってアンカーになる木を探す。1.5m位に立ち木があるが、太い一本は枯れていてアンカーには適さない。5m程上に石楠花の古木があった。幹が斜めになっているが、これ以外に適当な木が見当たらないので、この木をアンカーにする。

樹木にワイヤーロープが喰い込まないように、角材を添え木にしてワイヤーロープを二回巻いてワイヤークリップで固定、ワイヤー抑えを角材2カ所にネジで取付けて作業終了。荷物をまとめて下り始める。北側に2m程下がったところに積ヶ岳が見通せる場所があった。月初めにはまだ白かった積ヶ岳も雪は消えているようだった。



石楠花をアンカーに



ワイヤー延伸状況



雪の消えた積ヶ岳



標識の取付け



R425 下山



補給路登山口到着

東屋岳で倒れていた山頂標識は、隣の樹木に固定して一気に国道まで降りた。国道までは1時間足らずだった。

東屋岳登山口から行仙宿に向かう。先日ノートの写真を撮ったが、端が切れて読めない箇所があったので再度撮影と丸太から平板を製材するアダプタ工作のため、チェンソー1台を持ち降ろす。

M機終点上の登山道沿いのタムシバ・アセビの花を見ながら、午後4時過ぎに行仙宿小屋到着、誰もいなかった。

小屋内気温は19℃、チェンソーを一台出してノートの写真を撮り直す。お湯を沸かしてカップ麺を食べてから下山した。



行仙宿・行者堂に到着



タムシバとアセビの花



寺垣内のしだれ桜

M機駐機場で燃料とレールオイルを確認、どちらもまだたっぷり入っていた。

寺垣内に大きな枝垂れ桜があった。池峰公園ではまだ散り初めだったが、スポーツ公園は残り3割ほど、吉野町で花見客の帰りどぶつかって通過に時間がかかった。

行動タイム

R425東屋岳登山口09:58→11:40東屋岳11:45→12:07地藏岳西側
13:02→13:35東屋岳→14:20 R425東屋岳登山口14:30→14:50行
仙宿補給路登山口→15:20行仙宿16:16→16:50補給路登山口。

(記：梶野)

